



## 宮崎県人づくり・地域づくり中山間エリア会議開催！

5月11日（金）、中山間地域における今後のキャリア教育の在り方等について情報交換や協議を行う研究会を、五ヶ瀬町立上組小学校で開催しました。諸塚、椎葉、美郷、高千穂、日之影、五ヶ瀬（計6町村）の教育関係者、大学生等約50名が参加し、五ヶ瀬町の特色ある取組や他県の取組から新たな発想を得ながら、将来を担う人財づくりや地域づくりなどについて協議を深めることができました。

### 五ヶ瀬町の発表より

五ヶ瀬町立小学校4校によるG授業公開で幕をあげ、過疎化の悪条件ではなく、人口1人当たりでみた際の高い学級設置率等の好条件を強みに、逆転の発想で「学力（知識）」だけではなく「心（忍耐や愛 etc）」を地域・学校から学ぶ「五ヶ瀬町教育ビジョン」、バスの手配、おたすけ隊（地域ボランティア）の手配、授業支援を実践している「支援室（事務室）」の取組、地域ぐるみで子供を育てる学校の応援団である「おたすけ隊」の内容が紹介されました。どの発表も他町村の参考になるもので、五ヶ瀬中学校生徒会がG授業の実践発表をしている姿にその成果が現れていました。



### 県外の先進的な実践発表、交流活動

NPO法人ひとつむぎ（大西浩正顧問と大学生2人）、NPOトチギ環境未来基地の塚本竜也代表が実践発表を行いました。ひとつむぎからは、町内外の高校生を巻き込む「ローカルハイスクール」の紹介や振り返り（「これまでは～思っていた」→「今は～思っている」）の大切さ、塚本代表からは、「都市部の若者と中山間の里山をつなぐこと」「その活動を若者主体で推進することを通して次世代を担う若者を育てること」の事例などが紹介されました。



その後は、五ヶ瀬中学校3年生と参加者による「トークフォークダンス」を行い、五ヶ瀬町の特色について一対一の対話を行いました。

### インタビューダイアログより

九州大学伊東准教授、宮崎大学遠藤准教授、県キャリア教育支援センターの水永トータルコーディネーターにゲストを加えた6名が意見交換を行いました。



五ヶ瀬町の学びについて「社会で活用でき、学ぶことに必然性がある。」「胸をはって語る人は巻き込みをつくることができる。」「大人の集まりに小中学生を参加させることで大人も同時に学ぶことができる。」等の意見が出されました。また、「となり町や東京はどう思っているか」等の価値を相対化する必要性や「知識は高校や大学で、中学生までは知恵を身に付けて欲しい」といった意見が印象的でした。

### 宮崎大学教育学部 吉村功太郎教授の総括コメントより

社会とは、「人と人とのつながり」「人間の共同生活の総称」等であるが、つながりを機能させるためには「役割」があり、うまくいかない場合は、「制度・分担」する必要がある。**キャリア教育の目的は、「ちゃんとした大人」の育成にあり、方法論に核心がある。子供を大人として扱い、共に自分たちの社会をよくしていこうとすることが大切である。**



# 平成30年度みやざきキャリアフォーラム開催！

5月24日（木）、KIRISHIMA ツブキ武道館において、産業界によるキャリア教育支援（職場体験学習、インターンシップ、出前授業等）の現状やモデル的な取組についての情報交換を通して、本県ならではのキャリア教育の一層の推進を目指し、みやざきキャリアフォーラムを開催しました。産業界や行政担当者、教職員など約160名が参加し、熱心な議論が繰り広げられました。

## 基調講話

「次世代を担う人材を育てる教育協働活動～職場体験や出前授業をどう行うか～」

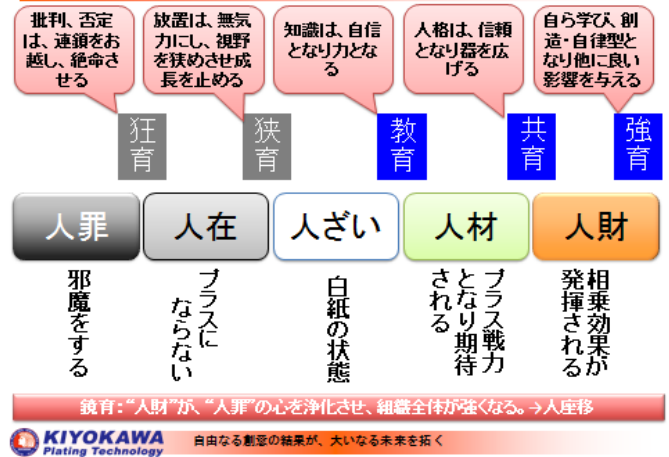
清川メッキ株式会社 専務取締役 清川卓二 氏（職場体験の内容は第9号に掲載済み）

平成29年10月にTV会議の講演で大変好評であった清川専務に今回は来県いただき、直接講話をいただきました。「一流の仕事とは?」「6つの『きょう育』と『人ざい』」等について、紹介します。

### ■一流の仕事とは?



### ■③6つの「きょう育」と「人ざい」



## 参加型トークセッション、職場体験学習の事例分析と改善提案

### 「今後の職場体験学習や出前授業の方向性」

職場体験学習の目的や効果を今一度振り返る（リニューアルする）必要があるのではないかとという視点で議論を行いました。職場体験学習の今後の方向性については、次号で掲載します。



## 情報交換会

### ブース形式によるアシスト企業等との情報交換

宮崎県のアシスト企業など13社がブースを設け、今後の学校支援について、参加者との意見交換が行われました。各事業所の担当者からは、職場体験（インターンシップ）の受入だけでなく、よのなか教室や出前授業の講師として、どのような内容を子どもたちに伝えることができるのか等についても、詳しく紹介がなされていました。



## 参加者のコメント（一部）

### 企業関係者より

「仕事は誰かのためにするものであるということを、子供たちにしっかり伝えていきたいと思いました。」  
 「職場体験学習ではお客様扱いしないという考え方を、自社でも取り入れるべきだと感じました。」

### 教育関係者より

「企業がもっている強みを教育に生かしていくことの大切さを感じました。」  
 「一流から五流までの仕事の話は、自分自身を振り返ることにもつながりました。」  
 「子供たちのために、職場体験学習はしっかり見直さなければならないと感じました。」